

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

森林の持続的活用

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	持続的林業の確立と地元産木材販売力の強化	・木材原木の取扱量(年間) 2023年度:20千 m^3 2026年度:28千 m^3
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	協同組合として組合員の負託に応えることができ、かつ信頼される組織体制の確立	・コンプライアンス研修実施回数 2023年2回→2026年までに6回 ・内部監査の実施回数 2023年6回→2026年までに18回
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	高度な知識・技術を有する職員(人材)の育成・確保	・職員数 2023年:42人→2026年:48人 ・就業環境の整備 会計ソフト更新やICT機材導入による業務の効率化

<パートナーシップ>

森林所有者の負託に応えるべき森林組合として、組合員と森林管理に関する情報を共有し、信頼関係を構築するとともに、組合として職員が働きやすい職場環境の整備を図る。

- ・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
- ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
☒ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	・持続的林業の確立と地元産木材販売力の強化。 現場職員の独立による職員減少、立木買いの確保不足による減少。	木材原木の取扱量(年間) 2019年度:24千 m^3 →2023年度:28千 m^3	2021年度:23千 m^3 82% 2022年度:28千 m^3 100% 2023年度:20千 m^3 71%
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	協同組合として組合員の負託に応えることができ、かつ信頼される組織体制の確立。	コンプライアンス研修: 年2回 内部監査の定期的実施	コンプライアンス研修 年2回実施 内部監査:年6回実施
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	・高度な知識・技術を有する職員(人材)の育成・確保。 定年退職、再雇用職員、現場職員の独立の退職者が重なったため職員減少となった。 給与規程を改正するなどして、新卒・中途採用者の雇用もあつたが退職者数に満たなかった。	職員の確保・育成 2020年:48人 →2023年:55人 就業環境の整備	2023年:42人 就業規則の一部改正実施 給与規程の一部改正実施

- ・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。